
「ま」ちから

奈子

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

「ま」ちから

【Nコード】

N6773R

【作者名】

奈子

【あらすじ】

魔力・真力・マリオク。とにかく不思議で超常的な力のことで、ファンタジーやゲーム世界でお約束な便利エネルギーである。

そのファンタジー世界設定によれば、強い魔力を持ったためには生け贄を求めてみたりとか
禁欲生活が必須だとか
悪魔に魂を売ったりとか
深山遠海で荒行の日々だとか

お手軽に力の籠もった石による改造だとか
薬草などでドーピングだとか

というように、（自分からすれば）あまり良いイメージとは無縁の力である。

女性の小悪魔な魔力は大歓迎だが、わけの分からん力で世界を変えられるなどごめんである。

まして魔法世界では化け物が必須生息し、江都時代よろしく“火事と地震”ならぬ“魔物災害と魔力天変地異”により財産を築いたそばから倒され斬られ滅ぼされーのではやってられん。

現代日本人で、程よい治安に守られた平均所得な家庭のオヤジの実に正しい意見だ。

だが

そうは問屋が卸さない

災害は突然に

不公平は世の理

セカチューに嘆いてみるだけ無駄無駄無駄とエコーな日々。
そんな親父の「ま」なライフ

俺と犬の出会い

日曜午前8時30分

妻は地域の皆様と公園清掃に向かい

息子は部活とやらで学校に

一人家で惰眠を貪るうにも、一度完全に目が覚めてから布団に潜り直すのも何やら馬鹿らしい

そんな俺の目の前に現れた犬はこう言った

「お前、明日から魔王だから」

優に三分、空気が凍った

幻聴

幻覚

或いは、質の悪い誰かのイタズラか

犬っぽい固まりの襟首を掴み上げ、どりゃつとばかりに庭に棄てる門は開けてあるから、勝手にどっか行くだろ

所詮、犬

撫でたり餌をやったりしななければ、いきなり投げ捨てるような人間

(敵)のいる家に留まることもない

…はずだ

「ちょッ！待て待て待て！

話聞いて！聞いてくれ」

「ガラスが割れるから、体当たりやめる犬

あとおまえにやる餌はない」

「ぶはっ！！？」

間抜け顔の犬のくせに、強烈な体当たり仕掛けやがって
ガラスにヒビ入ってるし
ガムテはどこだ

「蹴るなよ！」

「うるさい、犬

犬ならワンと喋れ

でないと気持ち悪いから
以上」

あ、ガムテあった

でもこの犬、このまま放っておくと厄介だな

また体当たりされたらやだし外に買い物行くついでに棄てに…いや
保健所？町役場のほうが良いか？

俺と犬の出会い（後書き）

犬もどきとオヤジです

一応主人公です

ちなみにオヤジさんの年齢は三十後半です

これからどう展開するやら…（^^；

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6773r/>

「ま」ちから

2011年10月6日21時56分発行